

トリデシルアルコールの分解度試験成績報告書

- 試験期間 昭和53年6月5日～昭和53年8月1日
- 試料名 トリデシルアルコール(試料No K-347)
分子式 $C_{13}H_{28}O$
構造式 $CH_3(CH_2)_{12}OH$
性状 外観: 白い粥状 融点: $30.5^{\circ}C$
沸点: $155\sim 156^{\circ}C/15mm$

(XXXXXXXXXX 特級試薬使用)

3. 試験方法及び条件

環保業第 5 号
薬 発 第 615 号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による
49 基局第 392 号 }

試料濃度: 100ppm 汚泥濃度: 30ppm 試験期間: 2 週間

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1 の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器: ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理

試験液

←クロロホルム 80ml
• 振とう抽出 10分間
• 静置 30分間

以下次頁に続く

前頁より引き続き

水 層

クロロホルム層

- 脱水ろ過 無水硫酸ナトリウム
- 100ml 定容

G C 試料

(c) 分析条件

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス N_2

充てん剤 25%PEG 20M/クロモソルブ W

ステレスカラム $3mm\phi \times 2m$

カラム温度 $208^{\circ}C$

4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
* 酸素消費量による結果	③ 76.8	1	—
	④ 100		
G C による結果	100	2	1

* 酸素消費量に差があったため別々に求めた。

以下次頁に続く

5. 備 考

試料の採取

30mgを精秤し、培養ビンに添加した。

クローメーターへのセット状況

	状 況	pH
仕込時	供試物質は培養液の表面に浮いていた	—
途 中	かなりの汚泥の増殖が汚泥系③，④に見られた。	—
終了時	汚泥系③，④は、かなり汚泥が増殖していた。	—

以 上